

馬込め便り

日本聖公会東京教区 大森聖アグネス教会



253号

2026年1月25日発行
編集・印刷：
馬込便り編集グループ

日本聖公会 東京教区 大森聖アグネス教会
管理牧師 司祭 シモン・ペテロ 上田憲明
〒143-0025 東京都大田区南馬込 1-58-8
Tel&Fax (03) 3771-3459
Eメール: agnes.tko@nssk.org
ホームページ: www.nssk.org/tokyo/church/oomori/



巻頭言

《大斎節は充電期間でもあると思います》

管理牧師
司祭

シモン・ペテロ 上田 憲明

今年は二月中ばかり大斎節が始まります。大斎節は昔から「克己節制の時」とか、「大斎を失う者は一年を失う」とか言われてきて、厳しい時のイメージが強いのですが、別の見方をすると、黙想や瞑想を大切にして霊的な養いを受ける時とも考えられます。私は、すっかりスマホなしでは、いろいろな事ができなくなってしまうように感じていて、充電切れが近づく、途端に不便さを感じて、すぐに必死に充電しようとしてしまいます。それと同じくらい、自分の霊的な意味での「充電切れ」に敏感であればいいのですが、なかなかそちらの方は、疎いような気がいたします。それだからこそ、今年の大斎節は、霊的な充電期間と捉えて、黙想やお祈りの時間を

いつもよりしつかり取り、自分の霊的な健康状態を見つめる時としたいと思います。大森聖アグネス教会としても、堅信受領者総会、いわゆる信徒総会がまもなくありますので、教会自体も自分たちの有り様を一緒に見直し、私たちはどうありたいのか？そのために何ができるのか？できないのか？今のまま続けていけないかもしれない事もいくつか出てきている事に、どう向き合っていくのか？などを吟味する必要があるのかもしれない。世代交代をしたいのに、それもうまくいかず、一部の人たちが無理をしているような状態では、長く続きません。たまには少し無理をしなければならぬ事もあるかもしれません。が、みんなで助け合ったり、励ましあったりして乗り越えていきたいものだと思います。聖書を通して、イエスさまが生涯をかけて伝えてくださったように「神さまが全てを超えておられる方、畏敬をもって拝すべき方であると同時に、私たちを愛し、大切に思

っていてくださる方でもある」ことを信じ、そこに根ざして、私たちが感謝と喜びをもって日々歩むこと、神さまの愛に、イエスさまが与えてくださった恩恵に、私たちがどう答えていけるかを考えていきたいと思っています。

